

健康友の会みみはら2014年2月会員数(世帯数)

会員数	33,622	(前月比) -189
郵送	8,555	(前月比) - 35
手配り	25,014	(前月比) +147

協同基金到達額 2,155,233,000円(1/31現在)  
[前月比 3,724,000減]  
協同基金出資者数 11,396名(1/31現在)  
いのちを守る助け合い募金額 54,633円(1/1~31)



発行  
健康友の会 みみはら  
本部事務局組織部  
機関紙編集委員会

〒590-0824  
堺市堺区老松町2丁58-1  
Tel.072-244-8061  
Fax.072-244-7860

1部30円

# いのち奪う暴走政治にストップを

## 2.15 近畿総決起集会



調子を合わせたシュプレヒコールに、注目が集まりました

心の底からの怒りをアピール

2月15日(土)午後3時、大阪御堂会館の大集会は、遠く滋賀や和歌山、兵庫、奈良、京都などからも参加。会場には一昨年を上回る1150人が集まりました。今回の「社会保障制度改革推進プログラム法」を絶対に実施させないという熱気に満ちた集会でした。

権利として勝ち取ってきた社会保障制度を根こそぎ破壊してしまう今回の「社会保障制度改革推進プログラム法」。

生活保護費や年金の引き下げに反対する不服審査請求運動として広がっていること。消費税増税の理不尽さ、まだまだ予断を許さないTPP交渉の情勢など生活と健康を守る会(兵庫)や年金者組合(和歌山)・消費者団体連絡会や保険医療協会から報告がありました。

情勢がしつかりと、そして楽しく理解できたのは、急遽舞台上に登場した神戸女学院大学の石川教授による「御堂筋分校」のゼミでした。ゼミの後半では、「秘密警察」なるものが登場して「先生、市民を扇動したらかんで。ちよっと署名まで」と連行しようとする場面もあり、特定秘密保護法のこわさをよく表していました。ゼミでは、国の赤字の原因がスッキリ説明。大企業だけが儲かり続け、国民のほとんどは賃金引き

さがり(世界で日本だけ)所得税が減っている、その上に大企業には法人税の減税、フツフツと怒りが沸いてきます。原発問題では、原発6基分の太陽光発電がすでにスタートしていること、自然エネルギーの潜在量は現在の日本の電力供給能力の10倍にもなるとの報告がありました。

集会後、御堂筋を大パレード。太鼓のドンドンドン、ドンドンという音に調子を合わせ、短い言葉で「消費税、反対」「増税、中止」「消費税中止でえじやないか」など元気よく楽しくアピールしながら歩きました。

(友の会専任 南波 和代)



会場いっぱい参加者でパレードの打ち合わせ

## 介護保険が見直されることを知っていますか?

—どこで、どんな介護がいくらで提供されるか…市町村の裁量に—

『要支援1、2』の方が利用出来るサービスのうち、ヘルパー(訪問介護)とデイ(通所介護)が介護保険給付から外される法案が国会へ提出されました。

現在はサービスの種類、内容、人員・運営基準、単価等は全国一律ですが、今後市町村の実情に応じて地域の特性を活かした独自サービスが整備・提供される「市の事業」へと移行。既存の介護事業所に加え、例えばヘルパーはNPO・民間

企業による掃除・洗濯、また住民ボランティアによるゴミ出しへと、デイは住民主体のサロンなど地域内の様々な活動を活用し、どこ(誰)が、何を、いくらで提供するかは市町村の裁量で決める事になります。

そこには元気な高齢者は支える側に回る「互助(お互いに助け合い)」を推進。果たして専門性は?安全基準は?受け皿はあるのか?加えてこの市町村事業のみを利用する場合、あえて要介護認定を受けなくても簡単なチェックだけで利用可能とする内容も盛り込まれ、本来「要介護」に該当するはずの人が認定から閉め出される危険性が。今改正は要支援外にとどまらず、介護度や所得段階問わず全般的に影響を受ける内容です。実施は2015年4月から3年かけて段階的に移行。

このまま法案成立を待ちますか?改正中止を求めらるなら「今でしょ」。署名にご協力をお願いします。

(西第三地域包括支援センター 福丸 歩)

## 聴診器

1月19日に投票された沖縄名護市長選挙。現職の稲嶺進さんが再選されました。午後8時過ぎに稲嶺さん

の当確がテレビで放送された時、夫と二人で「やったあ!」▼堺市長選挙のときに知人友人が何日も応援に来てくれたことを選挙が終わってから聞いて感動し、名護の選挙はぜひ応援に行こうと、1月12日から3日間、同仁会有志の一員として選挙応援に参加。ピラマキと朝の宣伝が主でしたが、その中には「全国の多くの市町村には米軍基地はありません。基地がなくなってもまちづくりはできるのです。名護市は基地押しつけの再編交付金がなくても財政を健全化できました。現市長の改革で基地と引き換えの交付金に頼らなくても、名護市は市民の力で自立する地域へと生まれ変わったのです!」白米政府に屈しない誇りある名護市を「と、子ども医療費助成の拡大、保育園就園児560人増など具体的な成果が書いてありました」▼名護市は美しい海と緑のまちです。3日目、辺野古で「新基地建設を阻止する」座り込みデモの安次富浩さんのお話を聞き、珊瑚礁の美しい海を眺め、米軍の射撃訓練の音(キツツキが樹を穿つような音)を聞いて、稲嶺さんの勝利で新基地阻止を強く思いました。

(山上 佳代子)